

[成果情報名] 赤色と白色の複色、丁字咲きの鉢物用マーガレット新品種「伊豆 47 号」

[要 約] 交雑育種法により、外側の花卉が赤色、中心部分が白色、丁字咲きで小輪の花径、早生性の開花特性を持つ鉢物用新品種「伊豆 47 号」を育成した。本品種は、年内から開花し、草姿がコンパクトで、現地の適応性も高いことから、鉢物用品種として有望である。

[キーワード] 鉢物、マーガレット、新品種、交配育種

[担 当] 静岡農林技研・伊豆農研セ・生育・加工技術科

[連絡先] 電話 0557-95-2341、電子メール agriizu@pref.shizuoka.lg.jp

[区 分] 関東東海北陸農業・花き

[分 類] 技術・普及

[背景・ねらい]

鉢物用マーガレットは静岡県東部地域の鉢物主力品目として生産されている。一方で、多彩な花色や特徴ある花型で年内から開花する品種の育成が求められている。このため、交雑育種により優れた特性を持った鉢物用マーガレットの新品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

- 1 育成経過：2017 年に静岡県農林技術研究所伊豆農業研究センターにおいて、「伊豆 40 号」を種子親、「P14-6-1」を花粉親として交雑種子を得た。種子を播種して得られた 19 個体から 7 個体を優良個体として選抜した。選抜個体に「P17-31-1」の系統名を付与して増殖し、所内および現地ほ場で生育および開花特性に注目して選抜を行った。その結果、薄桃色と赤色の複色で、丁字咲きタイプの「P17-31-01」は鉢物品種として有望性が認められたため、育成系統候補「伊豆 47 号」とした（図 1）。
- 2 生育特性：「伊豆 47 号」は、外側の花卉が赤色、中心部分が白色の複色、丁字咲き、小輪の花径で、年内から開花する（表 1、図 2）。
- 3 現地適応性：「伊豆 47 号」は、現地の主力品種「シェリエメール」や「おぼろ月」と比較して、開花の早晩は同程度で、目標とする年内からの出荷が可能である。既存品種にはない花型・花色で、丁字咲き品種のシリーズとして出荷が可能な鉢物用品種として評価が高かった（表 2、図 2）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 種苗法による品種登録の出願を検討しており、栽培にあたっては静岡県との許諾契約が必要である。

[具体的データ]

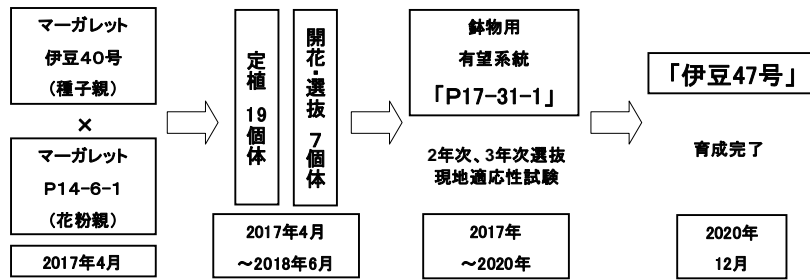


図1 マーガレット「伊豆47号」の育成経過

表1 「伊豆47号」の生育開花特性(2019年、所内試験)^{1) 2)}

系統名	花色		花型	開花日 (月日)	草丈 (cm)	一次分枝 (本)	花径 (mm)
	舌状花	丁字状花					
「伊豆47号」	赤	白	丁字	12月19日	37.3	3.3	43.8
シェリエメール ³⁾	桃	桃	丁字	12月18日	34.8	6.5	47.8
おぼろ月 ³⁾	黄	黄	丁字	1月17日	43.0	2.0	40.0

1) 所内ガラス温室での特性。2019年7月29日挿し芽、8月15日に5号ポリポットに鉢上げ、9月4日摘心。

2) 各系統3株調査

3) 対照品種

表2 「伊豆47号」の生育開花特性および現地生産者の評価(2020年、現地試験)^{1) 2)}

系統名	花色	花型	開花時期	草丈 ⁴⁾	頭花の直径 ⁴⁾	現地生産者の評価
「伊豆47号」	赤	丁字	11月下旬	低	小	既存品種にない花色で良い(v, w, x, y, z) 丁字咲きのシリーズに向く(v, w, x, y, z) 過年度に行った適応性試験の結果も良好(v, w, x, y, z)
シェリエメール ³⁾	桃	丁字	11月中旬	低	小～中	—
おぼろ月 ³⁾	黄	丁字	11月下旬	低	小	—

1) 2020年8月6日挿し芽。8月26日に各生産者に各系統10～20本挿し芽配布し、3.5号ポリポットに鉢上げ。

2) 現地生産者：伊豆の国市(v)、沼津市(w, x)、富士宮市(y)、三島市(z)

3) 対照品種

4) 品種登録特性調査基準により記載



図2 現地で栽培された「伊豆47号」の草姿(左;11月27日)と花型(右)

[その他]

研究課題名：マーガレット新品種育成と伊豆特産花きの生育特性の解明

予算区分：県単

研究期間：2016～2020年度

研究担当者：勝岡弘幸、加藤智恵美